

すてきがあふれ、交流の風が吹くまち

ふるさと都市・東灘

～ 東灘区計画 ～

「飛翔東灘」神戸出身の木版画家 川西祐三郎氏(1923～2014)作

氏は神戸の創作版画を確立し創作版画史に輝かしい足跡を残した父、川西 英の三男で、8歳より父に師事し木版画制作を始めました。作品発表歴は70年を超え、父の伝統を受け継ぎながら新たな展開を見せ、制作数は約1,200件にものぼります。

「飛翔東灘」の原画は東灘区民センターの5階ロビーに、また、原画をもとに作られた緞帳がうはらホールに納められています。



編集・発行 東灘区役所 まちづくり課

〒658-8570 神戸市東灘区住吉東町5丁目2番1号
TEL/078-841-4131 FAX/078-811-4901
HP/http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/higashinada/



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成28年3月発行 神戸市広報印刷物登録 平成27年度第642号(広報印刷物企画B-1類)

平成28年3月 神戸市東灘区

東灘区の将来像

すてきがあふれ、交流の風が吹くまち 「ふるさと都市・東灘」

この計画は2025年の将来像実現に向けて、
2016年度から2020年度までの
5年間の取り組み目標を定めています。

<様々な魅力(すてき)があふれる>

- 酒造業やだんじり、阪神間モダニズム、旧五ヶ町村などの「歴史文化」
- 多くの学校が立地する「若者のまち」
- 山麓が身近で「豊かな自然」 など

<交流の風が吹く>

- 六甲山と海の間を吹く風
- 転入者・来街者との交流
- 地域を支えるコミュニティ活動

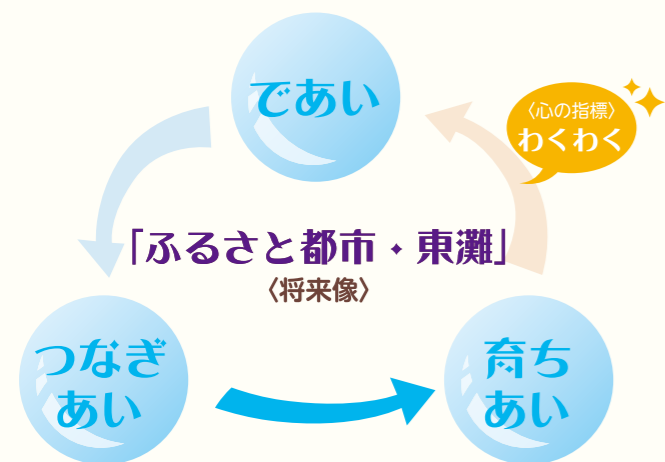
<心のよりどころとなる“ふるさと都市・東灘”>

- 東灘区に暮らす人が住み続ける
- かつて東灘区に暮らし、転出していった人が再び戻りたくなるまち

将来像を実現させるための 基本方針

であい つなぎあい 育ちあい

多くの魅力的な人や資源、取り組みが「**であい**」、
それぞれが「**つながって**」輪を広げることで、
人やまちが、ますます魅力的に「**育って**」いきます



「わくわく」して活動すれば、
新たな「わくわく」が生まれます

取り組み目標と考え方

1 未来の大人を
まちが育てる
～のびのびと
育つ～

地域と協働して子どもを安心して産み育てられるよう、子育てを応援する環境を整えます。また、子どもの自主性を重んじ、それを受け入れる「居場所」をつくり、育ちを促していきます。さらに子育て世代が住み続けたいと思えるような環境を形成していきます。

- 1 子育てを応援する
- 2 「子育て」を応援する
- 3 子育て世代の暮らしやすいまちにする



2 まちが見守り
支えあう
～安心して
暮らす～

阪神淡路大震災での経験や教訓を生かし、人と人の絆を深め、わたしたちの暮らすまちが、災害や犯罪、事故からも、また孤立からも守られるようにします。そのために災害や安全・安心に対する意識を高め、みんながまちを見る機会を増やし、そこで暮らす人を互いに見守り支えあえるようにしていきます。

- 1 災害に備える
- 2 みんなで見守りあう
- 3 まちで暮らす人が支えあう



3 まちの魅力
みがき、
活力を与える
～わくわくが
あふれる～

まちに活力を与えるため、まちの魅力をつないで発信し、その魅力をまちづくりに活かしていきます。

- 1 まちの魅力をつなぎ、つたえる
- 2 まちの魅力を活かし、活力あるまちをつくる



4 自然に親しみ、
健康や環境を
大切にする
～いきいきと
過ごす～

豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐために、住んでいる人や訪れる人が自然を感じ楽しめる機会を増やし、自然の大切さを学び、守り育てていきます。

- 1 まちの自然を守り、育てる
- 2 山に親しむ
- 3 健康に暮らす
- 4 環境に配慮し、まちの美しさをみかく



5 みんなが主体となって、互いに育ちあいながらまちをつくる ～であい、つながりあい、育ちあい～

住んでいる人、働いている人、学校に通っている人、ボランティアやサークル活動をしている人、新たに東灘区に転入して来たり、震災等により転出して再び東灘区へ戻ってきた人、皆がそれぞれにまちを知り、まちを愛し、互いに支えあいながら、地域力を高めていきます。

- 1 わがまちを知る
- 2 わがまちを育てる
- 3 わがまちをつくる



現在、人口減少社会の入口に立っていますが、地域活力の源泉は人口であり、計画の実施を通じて人口を維持・確保することを指標として、住民主体のまちづくりに取り組んでいきます。